

6 指標と数値目標

分野アウトカム(目指す姿)-(A)

No.	項目名	指標名	現状値	目標値 (2029年・年度)
(1)	災害時においても必要な医療を受けることができる。	中間アウトカム指標の達成率	-	100.0%
		業務継続計画(BCP)に基づき、災害時に必要な診療機能を維持できる病院の割合(他医療機関との連携等により診療を継続できる病院を含む。)	-	100.0%
		災害時に被災地域等への派遣要請に対応できるDMAT指定病院(LDMAT指定病院を含む。)の割合	-	100.0%

中間アウトカム(分野アウトカム達成に必要な状態)-(B)

No.	項目名	指標名	現状値	目標値 (2029年度)
(1)	災害時においても全ての医療機関が役割に応じた医療を提供できる体制の構築	災害拠点病院以外の病院における業務継続計画の策定率	36.8% (2023年度)	50.0%
		広域災害・救急医療情報システム(EMIS)への登録率	51.4% (全国値 79.3%) (2023年度)	全国値以上
		病院の耐震化率	78.7% (2023年度)	前年度より増加
		浸水想定区域に存在する病院において浸水対策を講じている病院の割合	72.7% (2023年度)	100.0%
(2)	被災した地域への適時・適切な医療支援が実施できる体制の構築	二次保健医療圏ごとに地域コーディネート機能の確認を行う災害訓練の実施回数	0回 (2022年度)	二次保健医療圏ごとに年1回以上
		広域医療搬送を想定した災害訓練の実施回数	0回 (2022年度)	-
		DMAT指定病院数(LDMAT指定病院を含む。)	16病院 (2023年度)	18病院
		DMAT隊員数(LDMAT隊員数を含む。)	319人 (2023年度)	前年度より増加
		DPAT隊員数(DPAT先遣隊隊員数を含む。)	105人 (2023年度)	前年度より増加
		県単位または二次保健医療圏単位で実施する研修・訓練に参加した災害医療コーディネーター、災害時小児周産期リエゾンの人数	-	二次保健医療圏ごとに年2人以上
		感染症法に基づく医療措置協定により、他の医療機関に派遣可能な医師数	-	40人
感染症法に基づく医療措置協定により、他の医療機関に派遣可能な看護師数	-	70人		

施策-(C)

No.	項目名	指標名	現状値
①	病院における業務継続計画(BCP)策定に係る研修、個別支援の実施	国または県が実施するBCP策定研修を受講した病院数	3病院 (2022年度)
②	病院の業務継続計画(BCP)に基づく訓練の実施促進	業務継続計画(BCP)に基づく訓練を実施した病院数	15病院 (2022年度)
③	EMIS登録促進のための研修・訓練の実施	EMIS登録・操作に係る研修・訓練の実施回数	3回 (2022年度)
④	病院の耐震化支援	病院の耐震化率【再掲】	78.7% (2023年度)
⑤	病院の浸水対策支援	浸水浸水区域に存在する病院において浸水対策を講じている病院の割合【再掲】	72.7% (2023年度)
⑥	二次保健医療圏ごとに地域コーディネート機能の確認を行う災害訓練の実施	二次保健医療圏ごとに地域コーディネート機能の確認を行う災害訓練の実施回数【再掲】	0回 (2022年度)
⑦	DMAT(LDMAT)指定病院の指定促進	DMAT 指定病院数(LDMAT 指定病院を含む。) 【再掲】	16病院 (2023年度)
⑧	DMAT(LDMAT)養成研修及び技能維持研修の実施、受講促進	DMAT(LDMAT)養成研修及び技能維持研修の受講者数	165人 (2022年度)
⑨	DPAT 隊員養成研修及びフォローアップ研修(DPAT 先遣隊研修及び技能維持研修を含む。)の実施、受講促進	DPAT 隊員養成研修及びフォローアップ研修(DPAT 先遣隊研修及び技能維持研修を含む。)の受講者数	42人 (2022年度)
⑩	災害医療コーディネーター、災害時小児周産期リエゾンの任命促進	災害医療コーディネーターの任命者数	18人 (2023年度)
		災害時小児周産期リエゾンの任命者数	27人 (2023年度)
⑪	DMAT(LDMAT)感染症研修受講促進	DMAT感染症研修を受講したDMAT(LDMAT)隊員の隊員数	3人 (2022年度)